

高田小学校だより

和紙と獅子舞の学校



【学校教育目標】

人間性豊かで 実践力のある児童の育成
～笑顔さらさら 夢いっぱい～

令和6年10月31日

NO. 7

秋気肌にしみ、秋の深まりを感じる季節となりました。

『子どもを育てる』ということ

10月23日は、授業参観・教育講演会等にご参加いただきありがとうございました。今回の講演会は、美作学園 理事長 藤原修己先生を講師にお招きし、『家庭の力で子どもを育てる ～子ども教育相談1000人からの学び・学びの土台づくり～』についてご講演いただきました。保護者・教職員含めて41人の参加となりました。

講演内容の概要を少しですがご紹介します。

○学びの土台づくり

(家庭の中で、どのように子どもを育てていくか)

1. 知ることの喜び—知的的好奇心がないと子どもは育たない
 - ・子どもの「なぜ・どうして」にどう答えるか
日々の忙しい生活の中でも、一緒に考える姿勢を
 - ・知的活動の基礎作りとして、読解力を育てる
本をどれだけ読んだかが、子どもの大きな宝となる。本を読む文化を家庭に作ってほしい。
2. 自信をどう持たせるか
 - ・はやく（スピード）、たくさん（量）、上手に（質）
できなくても評価して誉めてやる事が大事。
 - ・子どものたての成長とよこの成長
たての成長とは、偏差値で数値によって表すもの。よこの成長とは、数値では評価できないその子自身の成長のこと。たての成長とよこの成長があって、初めて子どもは根をしっかりと張って成長する。
 - ・子どもの欠点は、長所でもあるという考え方
長所は常に短所の裏返しで、短所は長所の裏返しだということ。
3. 言葉による表現力
 - ・子どもの言語能力を育てるということ
 - ・筋道をたてて話をする習慣づくりを
単語だけの話ではなく、続けて話が繋がるように、問い返しのある会話をすることを意識する。

『子どもを育てるということ』について、ご家庭でも話題にしてください、「すぐにでもできそうなこと」を一つでも実践していただけ

ばと思います。

学校でも、今以上に、子どもたち一人ひとりの長所を大切に、心を込めて褒めていきたいと思っています。褒められた時の心地よさが、子どもの心に焼き付いて、次も頑張ろうと思うエネルギーになるのだと改めて学ばせていただきました。

ご家庭の皆様と、より一層の連携をしていきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。



『発見！ ○○名人』

2学期より、高田小学校の子どもたちが、自分自身を成長させるために行動していくことを目指して『なりたい自分になろうプロジェクト』に取り組んでいます。

さらに第2弾として、『発見！ ○○名人』という取組を行います。全校児童94人の子どもたちには、一人ひとりが、誰とも比べられない素晴らしい所があります。それを発見して掲示し、みんなで認め合える高田小学校にしていきたいと考えました。

発見するのは、高田小全教職員です。みんなが気づいていない子どもたちの輝きを『○○名人』として発表していこうと思います。

11月～3月までの期間限定の取組です。ご家庭や地域での素敵な姿も（具体的に）、学校へお知らせいただくのも大歓迎です。

高田地域の宝である子どもたちの『○○名人』と一緒に発見してみませんか？

『光文庫』創設者の岸本様 挨拶運動

高田小学校には、岸本光磨様よりご寄付をいただいた「光文庫」のコーナーがあります。読書をすることで、豊かな心を持った高田小学校の児童に成長してほしいという思いからご寄付を続けてくださっています。大変ありがたいことです。

さらに、挨拶をととても大切にされていて、朝早くから、高田小学校の子どもたちを校門で迎えてくださいました。（わざわざ横浜から帰ってきてくださいました。）子どもたちの元気な挨拶に、感心しておられました。

これからも元気な挨拶のできる高田小学校でありたいと思います。

10月の子どもたち



6年生
修学旅行



1年生
昔遊び



5年生
海事研修



『高田小学校ホームページ』のご案内

高田小学校のホームページで、日々の子どもの様子を紹介しています。子どもたちの学校での様子が少しでも伝わりますよう、毎日更新を目標にしております。是非ご覧ください。

ホームページへは、右のQRコードも
ご利用ください。



<https://tsuyama.school>
WebNo. JP/3310013